

○与那原町における事後審査型総合評価一般競争入札の試行に関する取扱い

令和元年9月2日

与那原町告示第75-6号

与那原町の建設工事に係る総合評価一般競争入札試行要領（令和元年与那原町告示第75-5号。以下「試行要領」という。）に基づき、実施する総合評価一般競争入札のうち、入札参加資格審査を開札後に行う方式（以下「事後審査型」という。）を試行するにあたり、試行要領に定めるもののほか、手続きに関し必要な事項について下記のとおり取り扱うこととする。

記

1 対象工事

与那原町建設工事競争入札参加者資格審査委員会規程に基づく、与那原町建設工事競争入札参加者資格審査委員会（「以下「資格審査委員会」という。）において、事後審査型総合評価一般競争入札を行うものとして決定された工事とする。

2 入札の公告

町長は、当該入札が入札参加資格審査を開札後に行う方式であることを、入札公告にて周知するものとする。

3 入札の参加申請

事後審査（自己評価）型において入札に参加しようとする者は、自己評価表を原則、持参により主管課長へ提出するものとし、申請書、確認資料及び証明資料（以下「申請書等」という。）については、開札後、12に基づき、落札候補者及び証明資料の提出を依頼された者のみ後日、提出するものとする。

4 入札参加申請書の受付通知

町長は、公告に定める提出場所において自己評価表及び申請書等を受け付けた場合は、申請書又は自己評価表に受領した旨の印を押印した上で、その写しを申請者へ交付するものとする。

5 共同企業体資格審査申請書等の提出

入札に参加しようとする者は、与那原町特定建設工事共同企業体試行要領（令和元年与那原町告示第75-3号。）に基づき、特定建設工事共同企業体を対象とする建設工事の場合は、取扱要領に定める「特定建設工事共同企業体資格審査申請書（様式第1号）」に「特定建設工事共同企業体協定書（様式第2号）」及び「委任状」を添付し、公告に定めるとおり提出するものとする。

6 入札保証金の納付

与那原町契約規則（平成22年規則第8号。以下「契約規則」という。）の規定により、入札保証金を納めなければならない工事について、町長は、入札保証金の納付について詳細を公告にて周知するものとする。

7 技術力等の審査・評価

事後審査（自己評価）型においては、申請者から提出された自己評価表に基づき資格審査委員会又は決裁を経て、各申請者の得点を仮決定するものとする。

8 入札書の提出

入札参加者は、工事費内訳書を入札締切日時までに、入札書については、公告に定める日時までに指定された場所に提出するものとする。

9 入札の辞退

3の入札の参加申請手続後、都合により入札を辞退する場合には、公告に定める入札締切日時までに入札辞退届を郵送又は持参により提出するものとする。

10 落札候補者の選定

町長は、試行要領に基づき、予定価格の制限の範囲内でかつ失格基準価格以上の有効な価格をもって入札を行った者のうち、評価値の最も高い者（以下「最高評価値者」という。）を落札候補者とする。

11 落札決定の保留

契約担当者は、落札候補者について入札参加資格を審査し、総合評価を行うため、開札時に落札決定を保留する旨、口頭で伝えるものとする。

12 申請書等の提出

町長は、最高評価値者から順に原則3者確保できるまでの順位の者に対して、書面もしくはファクシミリにより「入札参加資格確認申請書等提出依頼通知書」を送付し、証明資料の提出を依頼するものとする。

なお、証明資料の提出を依頼された者が、期限までに提出しない場合は、入札参加資格がないものとする。

13 施工体制の審査

町長は、申請書等の提出を依頼した者のうち、その入札価格が与那原町低入札価格調査制度要領（令和元年告示第75-2号。（以下「低入札調査要領」という。））に基づく低入札調査基準価格に満たない者（以下「低価格入札者」という。）については、どのような施工体制を構築し、それが施工内容の実現確実性の向上に繋がるかを審査するため、開札後、「入札参加資格確認申請書等提出依頼通知書」に特記事項を記載し、低入札価格調査制度に係る追加資料（以下「追加資料」という。）の提出を依頼するものとする。

追加資料の提出期限は、通知日の翌日から起算し2日後（土日、祝祭日を除く。）とする。

なお、町長は、低価格入札者から追加資料の提出を受けた場合はヒアリングを実施するものとし、その日時については当該低価格入札者へ追って連絡するものとする。ヒアリングの実施にあたっては、出席者の中に配置予定技術者を必ず含め、資料の説明が可能な者と合わせて最大2名とする。

14 申請書等に基づく入札参加資格の事後審査

- (1) 当該工事を所轄する主管課長は、落札候補者及び申請書等を提出した者全員について、入札参加資格の事後審査を行うものとする。

なお、最高評価値者が2者以上いる場合は、くじにより審査順位を定め、上位の者から順に事後審査を行うものとする。

- (2) (1)の事後審査の結果、最高評価値者が入札参加資格を有していないことを確認した場合や、資料の不備等により評価値の減点があり次順位の者と順位が入れ替わった場合は、次順位の者を最高評価値者として事後審査を行うものとする。

なお、事後審査の結果、当初証明資料の提出を依頼した者全員が入札参加資格を有していないことを確認した場合や、資料の不備等により評価値の減点があり、当初証明資料の提出を依頼した者以外の者が最高評価値者となった場合、当該最高評価値者を落札候補者として事後審査を行うものとする。

その際、新たに証明資料の提出を求める場合には、12の前段の方法により行うものとする。

る。

- (3) 当該審査における入札参加資格の有無の確認は、申請書等の提出をもって行うものとする。

- (4) 当該審査における入札参加資格の有無の確認結果については、資格審査委員会の審議を経るものとする。

15 落札者の決定又は入札参加資格不適格の決定

- (1) 町長は、14に定める入札参加資格の事後審査の結果、最高評価値者が入札参加資格を有する適格者であると認めた場合は、落札者として決定し、落札者及び他の入札参加者に通知するものとする。

なお、入札参加資格が確認された適格者への資格確認結果の通知は、落札者決定通知書をもってこれに代えるものとする。

- (2) 町長は、14の事後審査を行った落札候補者に入札参加資格がないと認めた場合、その者の行った入札を無効とした上で、当該落札候補者に対して入札参加資格がない理由を付して書面にて通知するものとする。

16 入札参加資格がない者に対する理由の説明等

- (1) 町長は、入札参加資格がない者に対して、資格がないと認めた理由を付すとともに、10又は15(2)の通知をした日の翌日から起算して5日（休日を含まない。）以内にその理由について説明を求めることができる旨、併せて通知するものとする。
- (2) 入札参加資格がないと認められた者がその理由について説明を求める場合は、町長に対し書面により行うものとし、郵送又は電送（メールやファクシミリ）によるものは受け付けないものとする。
- (3) 町長は、説明を求められたときは、説明を求めることのできる最終日の翌日から起算して5日以内に、説明を求めた者に対し、書面をもって回答するものとする。
- (4) 契約担当者は、入札参加資格がないと通知した者に入札参加資格があると認められるときは、(3)の回答と併せ、資格審査委員会の審議を経て、落札決定の通知をするものとする。

17 その他

この取扱いに定めるもののほか、事後審査型総合評価一般競争入札の試行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。